昭和26年3月12日第3種郵便物認可　平成24年8月1日発行（毎月1日発行）第62巻 第8号
ISSN 0913-9850

2012 Vol.62
8月号

MONTHLY かもつ

公益社団法人 鉄道貨物協会
東北地方の4支部が一体となり「東北支部」を設立

関東向け帰り便を活用して、農業機械輸送をモーダルシフト
ヤンマー物流サービス株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会
日本貨物鉄道株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会

我が国の貨物輸送の分野について、物資の安定・供給及び地球環境負荷（輸送量当りのCO_2排出量）の観点から、輸送方法の研究及び研究成果の普及啓発活動を行い、以って国民の生活に不可欠な物資の安定供給及び地球環境の保全に資することを目的とする。

Index

表2 土木・建築遺産

1 国土交通省が「エコレールマーク」と「熱中症予防声かけプロジェクト」のタイアップポスターを作成

2 公益社団法人 鉄道貨物協会 東北地方の4支部が一体となり「東北支部」を設立

4 本部委員会の審議内容

6 東北支部「貨物鉄道エコフェスティバル」開催

8 第27回エコレールマーク運営・審査委員会開催

9 支部だより 平成24年度 全国21支部通常総会すべて開催

11 お国自慢　信州戸隠高原

12 FREIGHT EYE

14 新規会員企業紹介　株式会社朗堂

15 協会ニュース／リフレッシュクイズ

16 モーダルシフト　ヤンマー物流サービス株式会社

20 貨物駅の仕事ガイド 駅頭荷役　京都貨物駅

22 営業窓口案内

24 トピックス

表3 「FREIGHT EYE」撮影メモ／JR貨物輸送概況

国土交通省が「エコレールマーク」と「熱中症予防声かけプロジェクト」のタイアップポスターを作成

「エコレールマーク」を良く知って、熱中症を防ぎましょう!

今、社会問題となっている熱中症→地球温暖化･気候異変が原因→地球環境負荷低減策の抜本的な実施が必要→「エコレールマーク」プロジェクトの推進が極めて有効

（公益社団法人 鉄道貨物協会）

「エコレールマーク」と「熱中症予防声かけプロジェクト」とのタイアップ企画について

この度、地球環境に優しい鉄道貨物輸送へのモーダルシフト促進のための、国土交通省の認定制度である「エコレールマーク」と環境省が協力する国民運動である「熱中症予防声かけプロジェクト」がタイアップし、合同でポスターを作成致しました。

ポスターの掲出について全国の鉄道事業者に協力を呼びかけたところ、北から南まで96の鉄道事業者から協力の申し出がありました。今後は、順次協力事業者の駅や電車内に掲出される予定となっており、誰もが利用する身近な場所から、ヒトにも環境にも優しい取組みを呼びかけて参ります。

「熱中症予防声かけプロジェクト」とは

企業および行政、そして国民が創造的に連帯し、「ひと涼みしよう」と声をかけ合い、コミュニケーションの力で、熱中症による死亡者をゼロにしていこうという国民運動です。
詳しくはこちらへ　http://www.hitosuzumi.jp/

※「エコレールマーク」について詳しく知りたい方は
http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk2_000008.html

東北地方の4支部が一体となり「東北支部」を設立

冒頭に挨拶する鎌田支部長

東北支部設立総会を開催

● 日時/平成24年7月6日(金) ● 場所/ホテルメトロポリタン仙台

東北支部では、7月6日(金)、東北各地より約130名の会員が集い、仙台市のホテルメトロポリタン仙台にて盛大に設立総会を開催しました。総会には、来賓として東北運輸局より清谷局長、JR貨物から真貝東北支社長をお迎えし、本部からは米本理事長が駆けつけました。

総会では、初めに支部長に就任した仙台商工会議所鎌田会頭から「東北支部設立を評価していただけるよう、装いも新たにしっかりと活動を展開してまいりたい。」と力強く挨拶、続いて登壇した米本理事長の「中学高校の入試問題にまで鉄道貨物輸送が取り上げられる時代が到来している。」との話に出席者は興味深く聞き入りました。続く議案審議では、冒頭改めて東北支部の設立を宣言、必要な役員選任、支部規則、事業計画が承認されました。その後、来賓としてご出席いただいた清谷局長より「大震災を経て改めて見直された鉄道貨物輸送を行政としても最大限支援していきたい。」とのご祝辞をいただきました。

総会後に開催された懇親会では、真貝東北支社長の「東北地方の会員が一体となることで一層モーダルシフトの流れが加速することに期待します。」との挨拶に続き、山田日通盛岡支店長の乾杯の発声で懇親に移りました。その後和やかな雰囲気の中で懇親が進むうちに時間が過ぎ、渡邉會津通運社長の中締めで会はお開きとなりました。

1 はじめに

東北地方に展開する青森･盛岡･秋田･仙台の4支部は、各支部が文字通り一体となり東北地方のほぼ全域を網羅する東北支部を設立することとし、本年2月の各支部幹事会を皮切りに諸準備を進めてまいりました。

その過程において4月には協会本部理事会の承認、6･7月には各支部総会の解散決議を経て、この度、当協会の18支部の中で最大の規模を有する「東北支部」が設立されました。

2 設立主旨

公益法人化を機に4つの支部が一体となりオール東北体制を確立、事業目的である「貨物輸送方法の研究及び成果の普及啓発」を強化する。

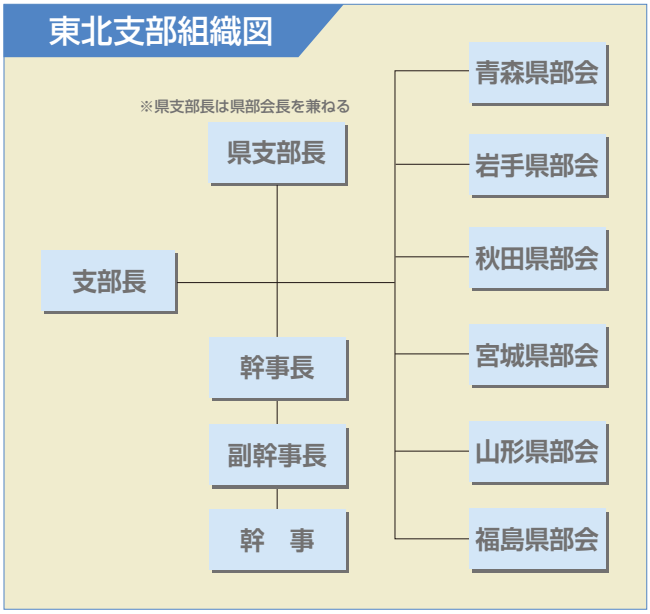
3 支部の概要

- **所在地**/宮城県仙台市青葉区五橋一丁目1-1
  （JR貨物東北支社営業内）
  会員及び会員地域事業所の代表者数…357名（社）
- **役員**/従来の役員（支部長、幹事長、監事、幹事）の他、県支部長を置く。支部長は、県部会長を県支部長に指名する。
- **組織**/青森･岩手･秋田･宮城･山形･福島の各県に「県部会」を設置する。

4 支部活動

関係諸機関への提言等、会員等の組織力、東北の地域力、総合力を存分に発揮するとともに、統合前の各支部において地域に根差し展開しているセミナー、講演会、PRイベント等も、各県に配置した県部会を通じて支部及び本部との連携を深め、取組みを従来以上に強化する。

東北支部組織図



清谷東北運輸局長来賓挨拶

米本理事長挨拶

多くの会員が参加され東北支部の設立を宣言

設立総会後に開催された和やかな懇親会

本社正面玄関

本部委員会の審議内容

公益社団法人 鉄道貨物協会

第3回 利用促進委員会 (H24.7.18)

平成24年度第3回利用促進委員会では、年間テーマ『鉄道コンテナ輸送の利用促進のための意向調査の実施および利用促進策の提案』及びサブテーマ『鉄道コンテナ輸送の利用促進に資する拠点およびインフラのあり方に関する調査研究』に関連したアンケート調査結果の中間報告について審議を行いました。

【審議内容】

当利用促進委員会では、実効ある調査研究提案を行なうべく、当該テーマに即した実態把握を目的としてアンケート調査を実施しているところです。今回の委員会では、そのアンケート調査結果の中間報告ということで、委員会開催直近までに報告をいただいた回答をもとに資料作成し審議をいたしました。審議内容(抜粋)は、以下のとおりです。

1.『アンケート調査結果の中間報告』

A.調査の概要

(1)調査方法

アンケート調査対象は、鉄道貨物協会会員企業及び前年度以前にヒアリング訪問した事業所等といたしました。アンケート期間は、6月下旬に発送し7月6日(金)締め切りといたしました。7月13日現在の回収状況は、184件発送し86件の回答をいだいております。

(2)調査項目

(a)月間の国内向け発送量および幹線部分における輸送モード別割合(全数、長距離輸送分)　(b)10年前と比較した鉄道コンテナ輸送利用の増減およびその理由　(c)輸送モードの決定者　(d)輸送モードを選択する際に重視する項目　(e)トラック輸送および海上輸送と比較した場合の鉄道コンテナ輸送に対する評価　(f)今後における鉄道コンテナ輸送利用拡大の意向の有無　(g)鉄道コンテナ取扱施設の新設が望まれる地域　(h)鉄道コンテナ輸送の利用拡大に向けて改善が求められる点　(i)「もしあったら便利」と考えられる鉄道コンテナ輸送サービス　(j)鉄道コンテナ輸送に対する意見

(3)調査結果の概要(抜粋)

委員会にて報告された数値的資料は、あくまでも中間報告であり、本紙上の掲載内容はあくまでも参考数値としての取扱いとさせていただきます。また、項目によりましては分析中のものあり、一部設問の回答の掲載については割愛いたします。

(b)10年前と比較した鉄道コンテナ輸送利用の増減及びその理由

「増加している」(37.2%)、「ほぼ横ばいである」(25.6%)、「減少している」(34.9%)、無回答が(2.3%)他となっている。

(c)輸送モードの決定者

「自事業所が決定する」(43.1%)、「本社や親会社の指示による」(27.7%)、「出荷先の指示による(15.4%)となっており、「物流子会社に任せている」(9.2%)や「物流子会社と相談して決定する」(4.6%)他となっている。

(f)今後における鉄道コンテナ輸送利用拡大の意向の有無

「拡大する予定である」(29.1%)、「輸送品質の向上など条件次第である」(24.4%)、「ほぼ現状のまま」(26.7%)、「分からない」が(14.0%)他となっている。

今後、当委員会では、同アンケート調査の分析作業の深度化を進めるとともに、回答をいただきました一部関係先企業へヒアリングをさせていただくことにより鉄道貨物輸送の一層の利用促進につながる調査研究を行う予定です。

第3回 輸送品質向上委員会 (H24.7.20)

平成24年度「第3回 輸送品質向上委員会」は、千葉県野田市にあるキッコーマン食品(株)様を訪問しました。目的は、年間テーマ「荷擦れ・荷崩れ対策としてのコンテナの内装及び養生材に関する調査研究と提案」の一環として、コンテナの内装及び養生材に関する現地調査でありました。同社の配送センター及び工場見学を終了後、会議室をお借りして、委員会審議を開催し、文字通りの「持ち出しの委員会」となりました。

1.キッコーマン(株)様のご紹介

ここで、キッコーマン(株)様の紹介をいたします。折しも、今年の7月1日より日本経済新聞の「私の履歴書」を執筆されているのが、同社の茂木友三郎名誉会長です。これによりますと、茂木家は、野田市で江戸時代から醤油を造っておりました。関東平野で醤油の原料である大豆と小麦が穫れ、輸送に不可欠な江戸川の水運もあり、野田市は江戸に醤油を供給して栄えました。1917年、茂木家は他の7つの醸造家と「野田醤油」という会社を興し、1940年、商標を「亀甲萬(キッコーマン)」に統一、1964年、商標を社名にして「キッコーマン醤油」となり「キッコーマン」を経て、現在の持ち株会社「キッコーマン」になっていく、とあります。

2.配送センター及び工場見学について

キッコーマン食品(株)様のご好意により、配送センター及び工場見学が実現しました。冒頭、同社の岡野物流部長様より概要説明を受け、31フィートコンテナ、12フィートコンテナの積込作業と養生の状況を見学しました。

その後の工場見学では、「もの知りしょうゆ館」におきまして、実際に醤油が出来る過程を見学することが出来ました。また、同工場敷地内にある「御用蔵」は、宮内庁にお納めするしょうゆを醸造するために1939年に建てられたものであり、併せて、見学をさせていただきました。

3.委員会審議事項について

A.年間テーマは、「荷擦れ・荷崩れ対策としてのコンテナの内装及び養生材に関する調査研究と提案」についてであり、審議項目は、下記の(1)～(3)でありました。

(1)キッコーマン食品(株)様配送センター積込現場視察についての質疑応答を行いました。

(2)コンテナの内装及び養生材に関する課題のための先行研究分析(既存の文献を用いて、コンテナの内装及び養生材に関わる荷物事故の実態)についての質疑応答を行いました。

(3)コンテナの内装と養生材に関するヒアリングについて、ヒアリングスケジュールは、7～9月にかけて実施し、10月開催予定の輸送品質向上委員会で報告予定です。

B.サブテーマは、「鉄道コンテナ輸送防止資材の効果検証調査」であり、審議項目は**「振動実験の実施について」**でありました。

これについては、7月中に振動実験に協力頂く荷主企業様の選定については、事務局一任となりました。また、その後、振動実験の仕組み・方法に関する説明についての質疑応答を行いました。

4.終わりに

キッコーマン食品(株)様の絶大なネームバリューにより、猛暑とタイトなスケジュールにもかかわらず、多数の委員が出席されました。施設見学を快諾されたキッコーマン食品(株)様、誠にありがとうございました。

31ftコンテナの積み込み見学

岡野物流部長様による工場見学のご説明

31ftコンテナへの積み込み

委員会審議の模様

委員会審議の模様

会場の八戸公園に設置されたゲート

東北支部「貨物鉄道エコフェスティバル」開催

会場のこどもの国・三八五こども館

- 場所／八戸公園［こどもの国・三八五こども館］
- 日時／平成24年7月21日（土）・22日（日）
- 主催／公益社団法人 鉄道貨物協会東北支部
- 共催／日本貨物鉄道（株）東北支社・八戸臨海鉄道（株）・仙台地方通運業連盟
- 後援／国土交通省東北運輸局青森運輸支局
  八戸市・八戸商工会議所・三菱製紙（株）八戸工場

エコレールマークちゃん登場で子供たちも大喜び

エコレールマーク認定商品の展示

八戸市は、東日本大震災による大きな被害を受け、今も『がんばろう、にっぽん いっしょに青森』を合言葉に完全復旧に向け頑張っています。

東北支部では、協会本部の協力もいただき、昨年の青森市に引続き今年は八戸公園『こどもの国・三八五こども館』にて「貨物鉄道エコフェスティバル」を開催、当日は好天に恵まれ、約1700人もの親子連れや鉄道ファンが訪れました。

フェスティバルには鉄道貨物ミニ写真展・八戸臨海鉄道コーナー・各種コンテナ展示・エコレールマーク認定商品紹介コーナー・ジグソーパズルにチャレンジ・鉄道グッズ販売・Nゲージ（鉄道模型）コーナー・ミニSL乗車体験コーナーを設けました。また、マンスリーかもつ7月号に掲載された青森県の五日市青果様の事例を紹介いたしました。

また、総合案内所では三菱製紙（株）八戸工場様提供のティッシュペーパー等をプレゼントし、ミニ写真展には八戸市・八戸臨海鉄道などによる『震災復興コーナー』も設けました。

来場者の反応も上々で新たな試みとして取り組んだ各種コンテナ展示では、普段間近で見る機会がないこともありたくさんの方にUFコンテナなどの仕組みについて質問いただきました。エコレールマーク認定商品紹介コーナーでも多くの方々に認定制度の説明に耳を傾けていただき、お子様にはジグソーパズルを楽しみながらエコレールマークを覚えていただくことも出来ました。

鉄道グッズ販売ではJR貨物オリジナル商品とあって昨年同様たくさんの方にお買い上げいただきました。その他、NゲージコーナーやミニSLコーナーも大好評で、賑わいは「エコレールマークちゃん」登場でピークに達しました。

この模様は地元新聞やラジオで大きく取り上げられ、鉄道貨物輸送の重要性、エコレールマークの認知度向上にと繋げることができました。ご協力いただきました関係各社・関係各位には厚く御礼申し上げます。

鉄道ファンの親子連れで大賑わい…大盛況でした

大人気のミニSL乗車体験コーナー

ジグソーパズルにチャレンジする子供たち

レアな車両グッズに興味津々

子供たちの熱い視線を集めたNゲージ

UFコンテナで−25℃を体感…

大好評の鉄道グッズ販売

各種パネル展示コーナー

第27回

エコレールマーク運営・審査委員会開催

公益社団法人 鉄道貨物協会内において、平成24年6月28日（木）に第27回「エコレールマーク運営・審査委員会」が開催され、新たに「商品」・「協賛企業」が認定されました。

今回の審査結果により、現在までの認定数は、企業75社、商品140品目、協賛企業17社の計232件となりました。

公益社団法人 鉄道貨物協会

認定の審議をされた委員会の様子

商品の新規認定（14品目）

- 「Panasonic乾電池 EVOLTA 1.5Vリチウム」（パナソニック株式会社）
- 「充電式 EVOLTA」（パナソニック株式会社）
- 「Panasonicマイクロ電池」（パナソニック株式会社）
- 「Panasonic電池式LEDライト」（パナソニック株式会社）
- 「パリッテ」（江崎グリコ株式会社）
- 「パナップ」（江崎グリコ株式会社）
- 「牧場しぼり」（江崎グリコ株式会社）
- 「ポッキー（ポッキーチョコレート・ポッキー極細・ポッキー<ソルティ☆>・いちごポッキー・つぶつぶいちごポッキー・ポッキーチョコレート（9袋）・いちごポッキー（9袋））」（江崎グリコ株式会社）

※ポッキーシリーズの商品入れ替えに伴い、再登録となっています。

協賛企業の新規認定（2社）

- 株式会社ジェイアール貨物・東北ロジスティクス
- 愛宕倉庫株式会社

CO_2などの温室効果ガス排出量削減のために環境問題に取り組まれている企業の方々のご応募をお待ちしております。

平成24年度 全国21支部通常総会 すべて開催

平成24年度の支部通常総会は、東京支部に始まり全国21支部の総会がすべて開催されました。
各支部では、多数の方々が参加され、今年度の活動方針を発表しました。今回は、宇都宮支部以後の総会の模様を掲載いたします。

宇都宮支部

●日時/平成24年6月18日[月]
●場所/宇都宮ポートホテル

宇都宮支部では、平成24年6月18日(月)16時より宇都宮ポートホテルにおいて平成24年度宇都宮支部通常総会を開催いたしました。
ご来賓として、日本貨物鉄道株式会社 関東支社営業部長菊池様、協会本部より理事・業務部長の開藤様よりご挨拶をいただいた後、支部平成24年度鉄道貨物輸送功労者5名の表彰が行われ、その後報告事項・議案審議を行い、承認されました。又JR貨物関東支社と協賛によるモーダルシフト説明会実施の案内を事務局から報告いたしました。

米子支部

●日時/平成24年6月20日[水]
●場所/米子ワシントンホテルプラザ

米子支部では、6月20日(水)に平成24年度支部通常総会を米子ワシントンホテルプラザにおいて開催いたしました。
坂口支部長の挨拶の後、来賓としてJR貨物関西支社営業部伊達サブリーダー様にご挨拶を頂き、引続き、米子支部として「協会事業協力者表彰」及び「鉄道貨物輸送功労者表彰」を夫々3名の方に賞状と記念品を贈呈して、表彰式を行いました。その後、幹事会にて承認を頂いた議案審議等について報告をしました。

静岡支部

●日時/平成24年6月21日[木]
●場所/ホテルシティオ静岡

静岡支部では、6月21日に平成24年度通常総会を開催いたしました。
支部長の挨拶後、ご来賓(中部運輸局静岡運輸支局福田支局長、JR貨物執行役員白石東海支社長、鉄道貨物協会本部中村エコレールマーク事務局長)の祝辞をいただき24年度の業務及び収支予算計画を報告しました。
その後功労者の表彰、記念講演会と続き、講演会では川崎浩司先生による「南海トラフ巨大地震による津波予測」というテーマでお話をいただきました。
終了後は懇親会を開催し交流も深めました。

新潟支部

●日時/平成24年6月21日[木]
●場所/ANAクラウンプラザホテル新潟

新潟支部では、6月21日(木)にANAクラウンプラザホテル新潟において、平成24年度通常総会を開催致しました。ご来賓として、北陸信越運輸局 石川次長様、(多田鉄道部長様、糸岡自動車交通部長様、小野自動車交通部貨物課長様)、新潟県 交通政策局 田村交通政策課長様、JR貨物関東支社石原副支社長様、協会本部 照井業務部次長にご挨拶を頂いたあと本部表彰紹介及び新潟支部「鉄道貨物輸送功労者」表彰を13名の方に行いました。議案審議は承認され、役員改選で今総会において現行役員の再任が決定し、支部長におかれては4月の幹事会で再任されております。

北海道支部

●日時/平成24年6月22日[金]
●場所/センチュリーロイヤルホテル

6月22日、センチュリーロイヤルホテル(札幌市)において、北海道支部の「平成24年度通常総会」が開催されました。

来賓にJR貨物北海道支社森國支社長及び協会本部米本理事長の御出席を頂き、会員様も約100名と多数出席し盛大な総会となりました。また、講演会では、(株)北海道熱供給公社 舟津中央エネルギーセンター長から、マンスリー貨物6月号でも紹介された燃焼灰と木材チップの往復輸送をテーマにご講演頂きました。

総会終了後、懇親会を開催し北海道運輸局の西川局長を始め運輸局の方々にも多数ご臨席を頂き、より深まる交流の場として和やかな雰囲気の中、盛会裏に終了しました。

岡山支部

●日時/平成24年6月22日[金]
●場所/メルパルクOKAYAMA

平成24年6月22日(金)、岡山支部では岡山市内のメルパルクOKAYAMAにて平成24年度公益社団法人鉄道貨物協会岡山支部通常総会を開催いたしました。会員様48名の出席により、新しく任命されました井口幹事長の開会宣言で総会は開催、ご来賓のJR貨物関西支社 萩原副支社長、鉄道貨物協会本部 開藤理事業務部長よりご祝辞を頂きました。末長支部長の進行で公益社団法人になり初めての総会が盛大に行われました。

総会閉会後 講演会を開催、講演者として中国電力株式会社 執行役員岡山支社長 重藤隆文氏をお招きし、「最近の電力事情について」ご講演頂き、昨今の電力に関する貴重なご意見を伺い、ひとり1人の電力への意識の向上を図る上で貴重な講演会となりました。

近畿支部

●日時/平成24年6月25日[月]
●場所/ホテルグランヴィア大阪

近畿支部では、6月25日(月)ホテルグランヴィア大阪において、平成24年度支部通常総会を開催しました。冒頭、福田幹事長より、「鉄道貨物輸送の一層の経済性、利便性向上と利用の促進に向け、支部活動の充実を図ってまいりたいと思います」と挨拶され、ご来賓の近畿運輸局交通環境部長 滝本様、日本貨物鉄道 関西支社長 神立様よりご祝辞を頂きました。続いて支部表彰として15名の方に、表彰状と記念品を贈呈しました。その後の懇親会では150名のご出席を頂き、とても賑やかな雰囲気の中親睦を深め、公益社団法人として初めての総会を無事終える事ができました。

九州支部

●日時/平成24年7月2日[月]
●場所/博多都ホテル

九州支部では、7月2日(月)に福岡市内の「博多都ホテル」において、公益法人として初めての通常総会を開催しました。

まず、嶋支部長の挨拶の後、ご来賓の九州運輸局自動車交通部次長の榎本俊洋様、JR貨物執行役員九州支社長の池田清弘様、貨物協会理事長の米本亮一様のご挨拶を頂きました。続いて、6名の方の表彰式を行い、その後、議案の審議に入り「役員の補充選任者について」は原案通りに承認されました。

又、23年度の「事業及び決算」、「会計監査」、24年度の「事業計画」、「収支予算」についての報告が、さらに「会員資格について」、「支部規則」並びに「地区利用促進会議会則」の変更について、説明が行われ、総会は無事に終了しました。

仙台支部

●日時/平成24年7月6日[金]
●場所/ホテルメトロポリタン仙台

仙台支部は仙台市のホテルメトロポリタン仙台において、平成24年度総会を開催しました。会員110名が参加し、冒頭鎌田支部長の挨拶がありました。

平成24年度の支部貢献者、鉄道貨物輸送功労者の表彰式が執り行われ、議案については原案どおり承認されました。

なお、仙台支部は東北支部設立に伴いこれをもって解散となりました。

お国自慢

涼しい信州戸隠高原で「エコ」な夏はいかが?

信州戸隠高原

「天の岩戸」伝説の舞台、戸隠神社は霊山戸隠山の麓にあり、奥社･中社･宝光社･九頭龍社･火之御子社の五社からなる創建二千年余に及ぶ歴史ある神社です。

奥社へ向かう参道に立ち並ぶ、樹齢400年の巨大な杉並木はパワースポットとしても有名ですが、近年テレビCMに使用されたことで、より人気が高まっています。

また、戸隠へ向かう道が「バードライン」と名づけられているように、一帯は日本屈指の野鳥の宝庫でもあります。楽しげにさえずる鳥の声を聞きながら、木漏れ日の降り注ぐ巨木の間を歩いていると、心が穏やかになり、荘厳な気分さえしてきます。

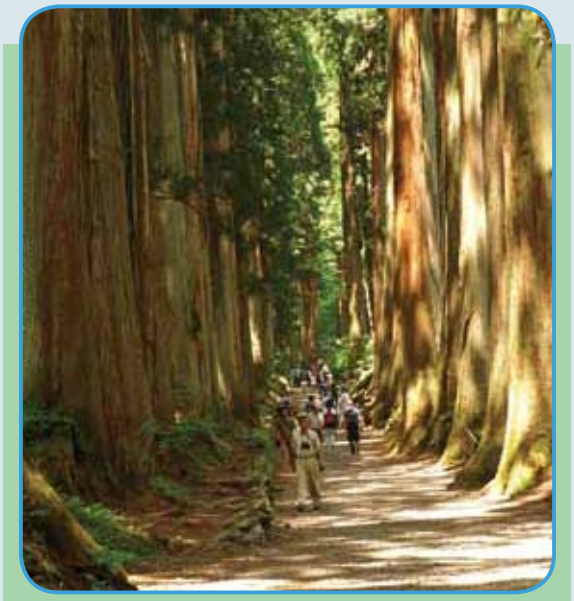
「戸隠」といえば「戸隠そば」を連想される方も多いと思います。中でも中社前の「うずら家」は、休日ともなれば1時間待ちは当たり前の超人気店です。ざるそばを注文すると、まず出てくるのが季節野菜の漬物と生わさび。そばの茹で上がりを待つ間、おろし金にひと匙の砂糖をのせわさびを摺ります。砂糖はわさび独特のアクを和らげ、その味と香りをひきたてるそうです。伝統工芸品の竹ざるに盛られたそばは戸隠特有「ぼっち盛り」で、小分けになっているため食べやすいのが特徴です。

周囲には、四季それぞれの戸隠連峰を写す「鏡池」、白樺林に囲まれた「戸隠キャンプ場」、さまざまな仕掛けが楽しい「チビッ子忍者村」などがあり、大人も子供も自然とふれあい、楽しむ事ができます。

森林浴で心も身体もリフレッシュ、おいしいおそばでおなかも満足、おまけにパワーまでもらえるお得な信州戸隠。今年の夏は、クーラーいらずの涼しい高原で、エコな休暇を過ごしてみてはいかがでしょうか。

担当：長野支部（高田知鶴子）

霊山戸隠山の麓にある創建二千年の歴史ある戸隠神社



テレビCMに使用されパワースポットとしても有名な巨大杉並木

戸隠そばの行列のできる超人気店・・・うずら家

伝統工芸品の竹ざるに盛られた戸隠そば

株式会社 朗堂（ほがらかどう）

〒721-0942 広島県福山市引野町5738-2 TEL(084)943-3711 FAX(084)943-9193
http://www.hogaraka.co.jp

鉄道模型ファンの皆様に支えられて20年

1/150での原寸大コンテナ

株式会社朗堂は平成4年、鉄道模型専門の小売業として創業しました。

当社はインターネットの普及と共にネット販売をはじめ、現在は常時5000点以上の商品を取り扱う「鉄道模型専門店」として海外のお客様からも御利用いただける企業へと成長してまいりました。

その取り扱い種類は、100円程度の小さなパーツから、30万円を超える高額車両までと、多岐にわたります。

当社の取り扱い商品の中心はNゲージと呼ばれる現物の（1/150）規格サイズの鉄道模型関連商品です。鉄道模型には、欧州で人気のHOゲージ（1/87）をはじめ、数種類の規格サイズ商品が混在しますが、現在の日本では、線路幅が9mmスケールのNゲージ商品が主流となっています。

このNゲージ商品の販売に伴い、鉄道模型のパーツの中でも、とりわけ種類が少なかった「貨物用コンテナ」に注目。平成11年より自社にて私有コンテナを中心に生産販売を開始いたしました。

その後、各企業様の御協力をいただきながら順調に製品数を伸ばし、平成24年8月現在140種類を超えるまでとなりました。

近年はPR効果も期待できる事から各企業様サイドからNゲージのコンテナ商品化の御依頼を受けることも少なくなく、このような企業様からの応援を大変心強く感じております。

こちらの誌面をお借りしまして、当社オリジナルコンテナの販売にあたり、御厚意賜りました関係企業様には深く御礼を申し上げます。

さて、この当社オリジナルコンテナですが、現在交渉中も含め、今後も様々な種類のコンテナを発売していく予定です。また、新たにタンクコンテナの商品化も視野に入れ、Nゲージコンテナ部門の益々の充実を図ろうと考えています。

HOGARAKA DOU

塗装工程作業
塗装むらを防ぐ為手作業による塗装作業

印刷工程
1色毎にタンポ印刷

検品作業工程

平成24年7～8月分実施項目

本　部

7月　5日(木)／会誌編集会議(協会会議室)
7月12日(木)～13日(金)
　　／全国事務局会議(神奈川県)
7月18日(水)／第3回利用促進委員会(協会会議室)
7月20日(金)／第3回輸送品質向上委員会(千葉県野田市･キッコーマン食品(株))
8月14日(火)／コラボイベント第1弾フマキッズ(栃木県)
9月　2日(日)／JR貨物フェスタ2012 in アリオ北砂(東京都)

支　部

●北海道支部
7月24日(火)／役員･幹事等「企業視察見学会」の開催(登別)
7月27日(金)～29日(日)
　　／「環境広場さっぽろ2012」開催(札幌市)

●東北支部
7月21日(土)～22日(日)
　　／貨物鉄道エコフェスティバル開催(八戸公園こどもの国)
7月24日(火)／秋田県部会利用促進会議(秋田市)

●名古屋支部
8月24日(金)／夏季セミナー開催(名鉄ニューグランドホテル)

MONTHLY かもつ・8月号　第62巻・第8号　2012年（平成24年）8月1日発行（毎月1日発行）

発行／公益社団法人 鉄道貨物協会
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-4 吹田屋ビル4階
☎03-5256-0577　FAX03-5256-9220
鉄道貨物協会インターネットホームページアドレス http://www.rfa.or.jp

編集／ 公益社団法人 鉄道貨物協会・日本貨物鉄道株式会社
（株）ジェイアール貨物・リサーチセンター
印刷／（株）恒陽社印刷所活版事業部

線路は運ぶよ、エコまでも。

国土交通省

エコレールマーク

地球環境にやさしい鉄道貨物輸送を取り入れている※
商品や企業に、エコレールマークを認定しています。

※鉄道貨物輸送のCO_2排出量は、営業用トラックの約1/6です。

みなさんが店頭で商品を手に取ったとき、その商品がどのように運ばれてきたのか気にしたことはありますか？ 実は、商品がお店まで運ばれる手段にもエコがあるのです。見えないところでもエコ活動。運ぶ手段のエコにもっと注目してほしいと思います。

あなたの身近にある商品にも!? どんな商品や企業が認定されているかCHECK!→ エコレールマーク 検索

【お問合せ】国土交通省 鉄道局貨物鉄道政策室 TEL:03-5253-8111(内線40223) http://www.mlit.go.jp/tetudo/　公益社団法人 鉄道貨物協会 エコレールマーク事務局 TEL:03-5256-0580 http://www.rfa.or.jp/ecorail/index.html

みんなで声をかけあって、熱中症を予防しよう！

ひと涼みしよう

熱中症予防　声かけプロジェクト

熱中症を予防する5つの声かけ

- 飲み物を持ち歩こう
- 休息をとろう
- 声をかけ合おう
- 栄養をとろう
- 温度に気をくばろう

ひと涼み 検索

http://hitosuzumi.jp/

MONTHLY かもつ

平成24年8月1日発行（毎月1回1日発行）昭和26年3月12日 第三種郵便物認可 MONTHLY かもつ 8月号 第62巻 第8号 頒価420円（本体価格400円 送料別 会員の購読料は年会費に含まれます） ISSN 0913-9850